

秘

内閣情報部三・一二 情報第三號

日本軍の漢口空襲

—同盟來電—不發表—

ニニューヨーク九日發

我が海軍航空隊は、八日午後機翼を連ねて武漢三鎮並に宜昌を空襲、國民政府軍基地に殲滅的打撃を與へたが、右空襲につきA・P漢口發電は次の如く報道してゐる

「日本軍の飛行機は漢口上空に於て邀撃の支那機一臺を墜し、乗組の支那飛行士二名は慘死した日本空襲部隊は更に支那軍兵舎数棟を爆破し十五名の死傷者を出した。製鐵所兵器廠及び飛行場も爆撃され損害は甚大に上つた。此の空襲で民間無電臺が爆破されマニラ向け定期通信は不能に陥つたので目下豫備無電局が使用されてゐる尙日本空軍の別動隊は宜昌、沙市を空襲したが損害は輕微だと言はれる」

内閣情報部二・一二 情報第三號

英國の調停説につき英官邊の意向—アヴァース報道—
同盟來電—不發表—

ロンドン八日發

ロンドン支局に依れば英國の日支紛争調停説に關し英國政府官邊では八日左の意向を表明した

「英國の調停乗出しに關する風説は全々事實無根でないにしても少く共行過ぎた説である、英國は次の二條件が具備された場合には米國政府と共に日支紛争の調停に乗出す用意がある、即ち

一、紛争の急速なる停止を齎すべき事態が出現すること

二、調停の結果、紛争が一方的に日本側に有利に解決されぬ事、而しながら此の二條件は現在未だ何れも實現されて居らず又調停の申出も今迄の所單に一部の人々に非公式に話があつた程度に止まり、之についての正式話合は未だ一度も行はれてゐない」